

給水管引込標準図

【φ20～φ30】

メータ廻り資材
(分岐径φ20～φ30)

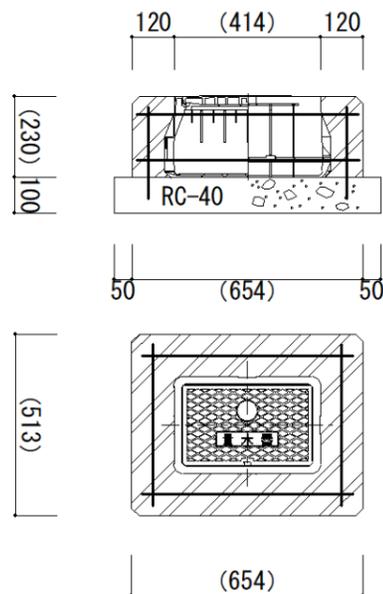
資材名	備考
OP Vメータ用ユニオンまたはSKXメータ用	(同等品・可)
TSHIソケット(ナット付)	2次側のみ
メタリングパッキン(止水栓用)	
盗防直結ボール止水栓(M型同等品)	※φ30以上は複栓付き開防
※MQリングパッキン	※メータ片落菅使用の場合
※メータ片落菅	φ20×φ13のみ
逆止機構付きパッキン(チャケット同等品)	2次側へ設置(メタル製)
TSHIソケット	2次側のみ
メータパッキン(EPDM)	(メータ付属品)

(メータボックス)

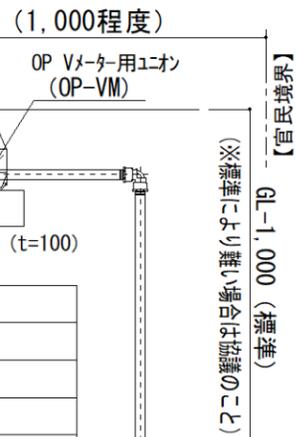
資材名	備考
前澤化成、アロン化成(FRP蓋)	一般(車両が載らない位置の場合)
前澤化成、日の出(蓋FRPまたはFCD)	住宅団地(流末未完)
ダイモン(FCD製) ※φ20の場合はφ25用とする	一般(車両が載る位置の場合)
★上記いずれも市章入りとする	

メータボックス廻り態様図

(ボックス廻りの仕上げが土間コン以外の場合に施工のこと)



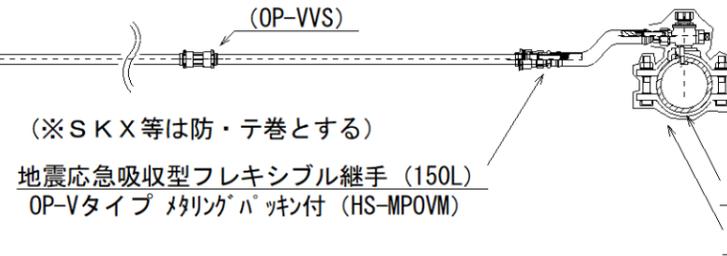
※()は前澤化成製FRP蓋ボックスの場合



配管部資材
(分岐径φ20～φ30)

資材名
OP塩ビ管ジョイントまたはSKXソケット
OP塩ビ管ジョイントまたはSKXエルブ90°
ロケーティングワイヤー

(管種: HIVP)



(※SKX等は防・テ巻とする)

地震応急吸収型フレキシブル継手(150L)
OP-Vタイプメタリングパッキン付(HS-MPOVM)

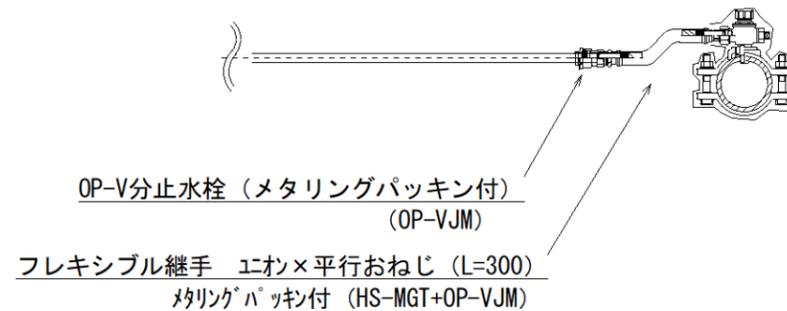
(既設配水管)
(付属のポリエチレンシート施工のこと)

本管分岐廻り資材
(分岐径φ13～25)

資材名
サドル付分水栓A形(ボール式)JWWA B117規格品 または、耐震オリジナルサドル
※密着コアWまたはSUS密着コア(DIPの場合)
メタリングパッキン(止水栓用)
地震応急吸収型フレキシブル継手(150L) OP-Vタイプメタリングパッキン付(HS-MPOVM)

本管分岐廻り資材
(分岐径φ30)

資材名
サドル付分水栓A形(ボール式)JWWA B117規格品
※密着コアWまたはSUS密着コア(DIPの場合)
メタリングパッキン(止水栓用)
フレキシブル継手 300L
OP塩ビ管ジョイント 分水栓用(メタリングパッキン付)



鉄筋重量表 φ20用FRP蓋の場合(参考)

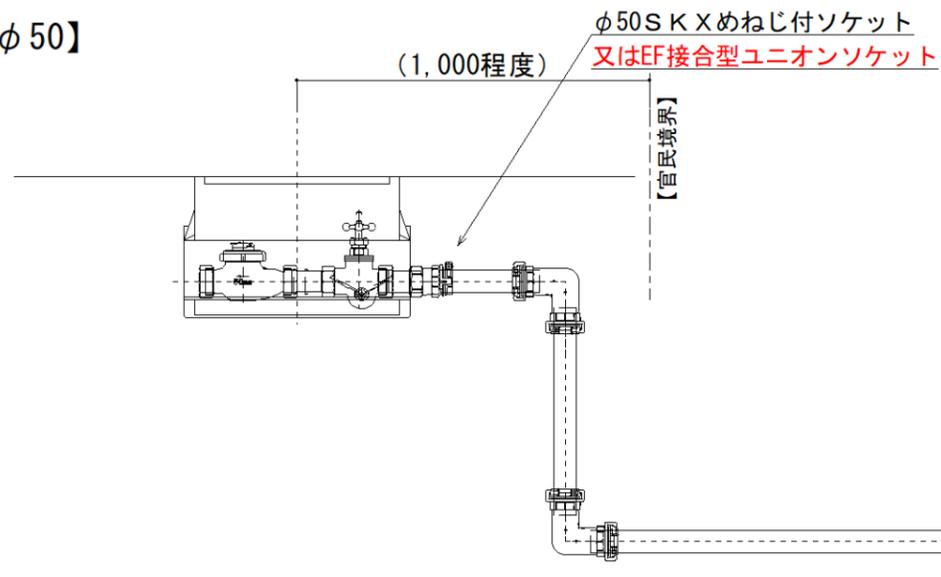
形状	鉄筋径	本数(本)	重量(kg/m)	重量(kg)
630	D10	4	0.56	1.411
490	D10	4	0.56	1.098
260	D10	4	0.56	0.582
合計				3.091

R5.4改訂

(給-6-1)				
図面の名称 給水管引込標準図(φ20～φ30)				
図面番号 1-R4.4-1		縮尺	1/20 A3	
課長	係長	合議	審査	設計
黒部市 都市創造部 上下水道工務課				

給水管引込標準図

【φ50】



配管部資材
(分岐径φ50)

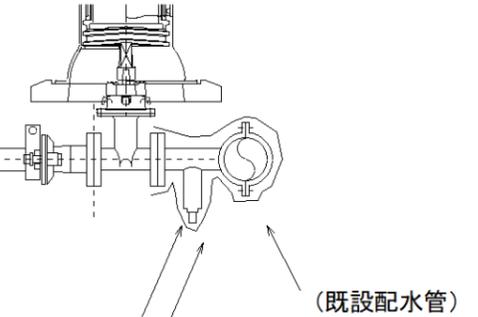
管種	資材名
PD	SKX90° ソケット (同等品・可)
PD	SKX90° エルボ (同等品・可)
	※ネジ込部は簡易防食テープ巻き
HPPE	融着継手を標準とするがメカ型継手の使用も可とする

本管分岐廻り資材
(分岐径φ50)

資材名
不断水バルブ (ST型)
※SUS製コア (DIPの場合)
ソフトシール仕切弁 (開度計付) ※道路横断となる場合設置
メカ型継手 (スッポンMD-F、MP-F同等品)
フランジ接合材料 (FSAボルト・ナット、Oリング付EPDM製パッキン)

(管種：内外面被覆鋼管又は高密度ポリエチレン管)
(HPPEを使用する際は、ケーシングワイヤー布設のこと)
(横引管：φ50・φ40共通)

※仕切弁ボックス設置図は別葉参照



※ソフト弁を設置しない場合は、正規に取り付けること
(付属のポリエチレンシート施工のこと)

メータ廻り資材
(分岐径φ40・φ50)

資材名	備考
SKXめねじ付ソケット	
GP用シモク (ナット付)	1次側・(2次側)
メタリングパッキン (止水栓用)	
複栓付き開防止水栓	(前澤給装)
メータパッキン (EPDM)	(メータ付属品)

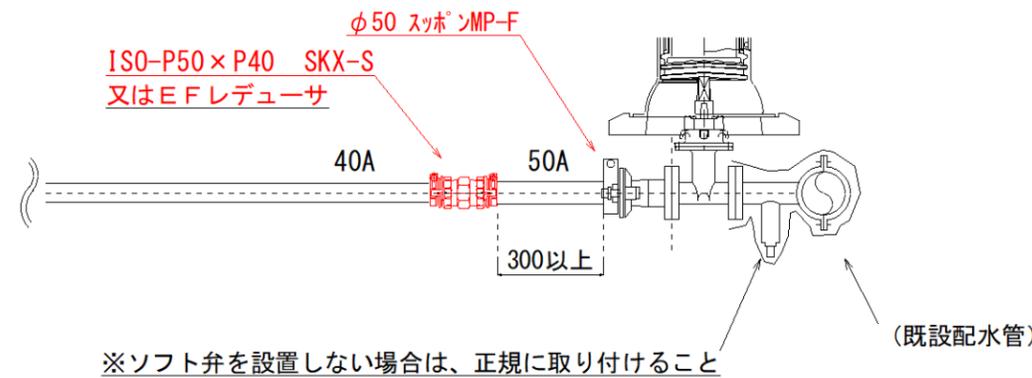
(メータボックス)

資材名	備考
前澤化成 (FRP蓋)	一般 (車両が載らない位置の場合)
※嵩上げ枠使用のこと	
ダイモン (FCD製)	一般 (車両が載る位置の場合)
※嵩上げ枠使用のこと	φ40・φ50共通
★上記いずれも市章入りとする	

※工場等の断水しにくい用途の給水の場合は、メータバイパスユニットを選定のこと。

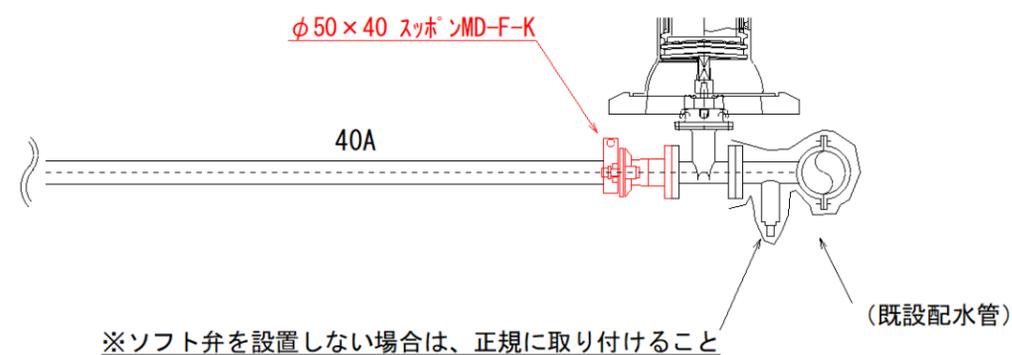
【φ40】

(管種：HPPEの場合)



※ソフト弁を設置しない場合は、正規に取り付けること

(管種：PD・VDの場合)



※ソフト弁を設置しない場合は、正規に取り付けること

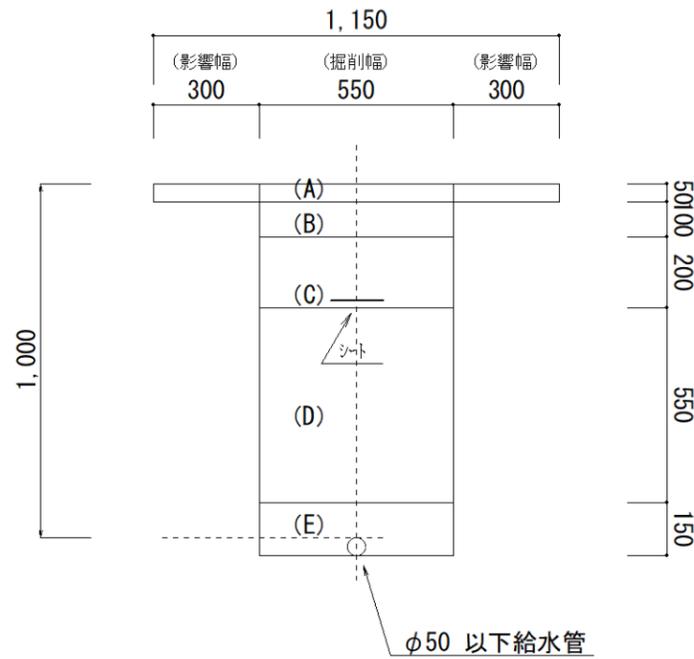
R5.4改訂

(給-6-2)				
図面の名称		給水管引込標準図 (φ40・φ50)		
図面番号		1-R4.4-2	縮尺	1/20 A3
課長	係長	合議	審査	設計
黒部市 都市創造部 上下水道工務課				

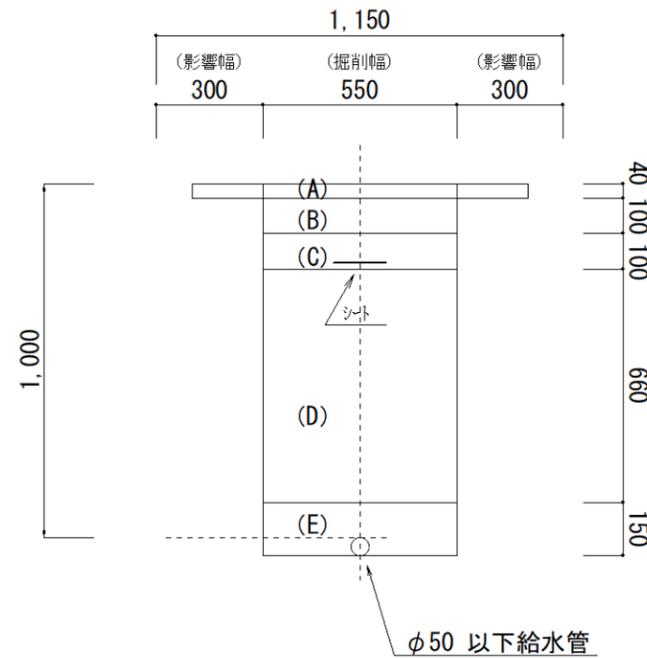
給水工事標準土工図（φ50以下）

※本復旧の範囲は、係員と協議のうえ決定すること。
 ※影響幅は道路横断を想定したものであり、縦断的に埋設する場合は車線単位での復旧も考えられることから、協議のうえ決定すること。
 ※団地造成等でPEPを使用の際は、管下に10cm砂を入れること

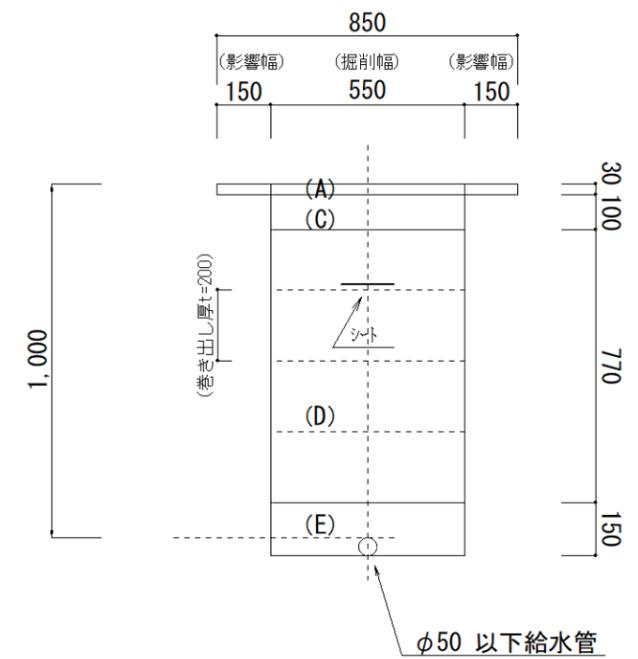
〈 市 道 〉



〈 農 道 〉



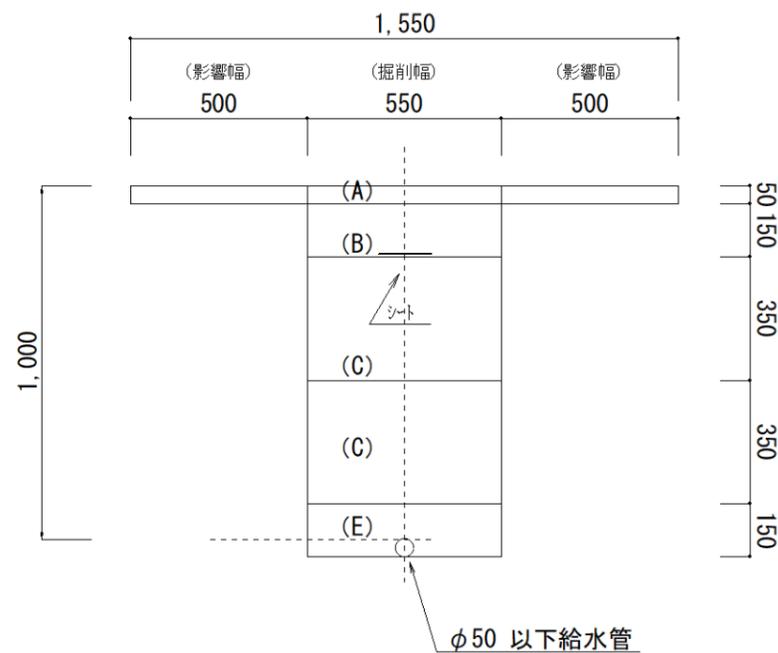
〈 歩 道 〉



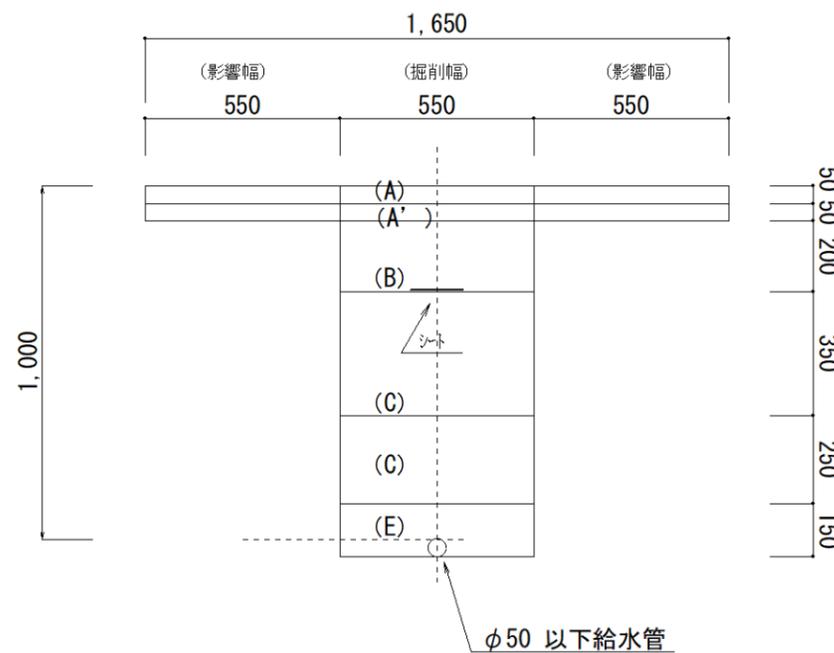
※国道の場合は、As厚を4cmとする。

◆ 乗入れ口について			
・ 民家の車庫等	As 5 cm	上層 10 cm	下層 10 cm
・ 出入りが普通車	As 5 cm	上層 20 cm	下層 20 cm
・ 出入りが大型車	As 5 cm	歴安 10 cm	上層 15 cm 下層 15 cm

〈 県道 旧A交通 〉



〈 県道 旧B交通 〉



A	(車道) 密粒度AC20FA (歩道・仮復旧) 密粒度AC13FA
A'	粗粒度AC20
B	M-40
C	RC-40
D	発生土(良質) ※状態が悪い場合は置換えとすること
E	洗い砂
シート	埋設標示シート (W=150・2倍折込品)

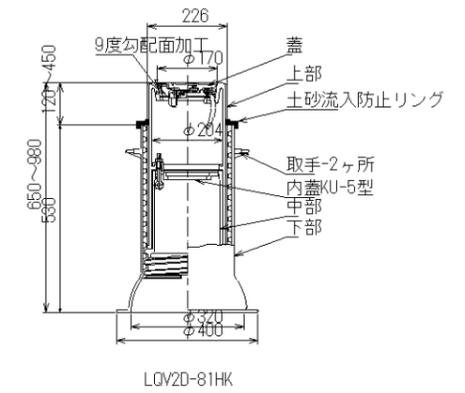
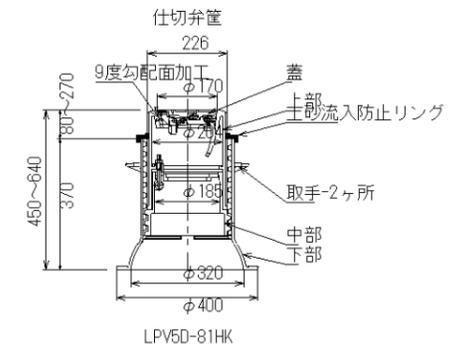
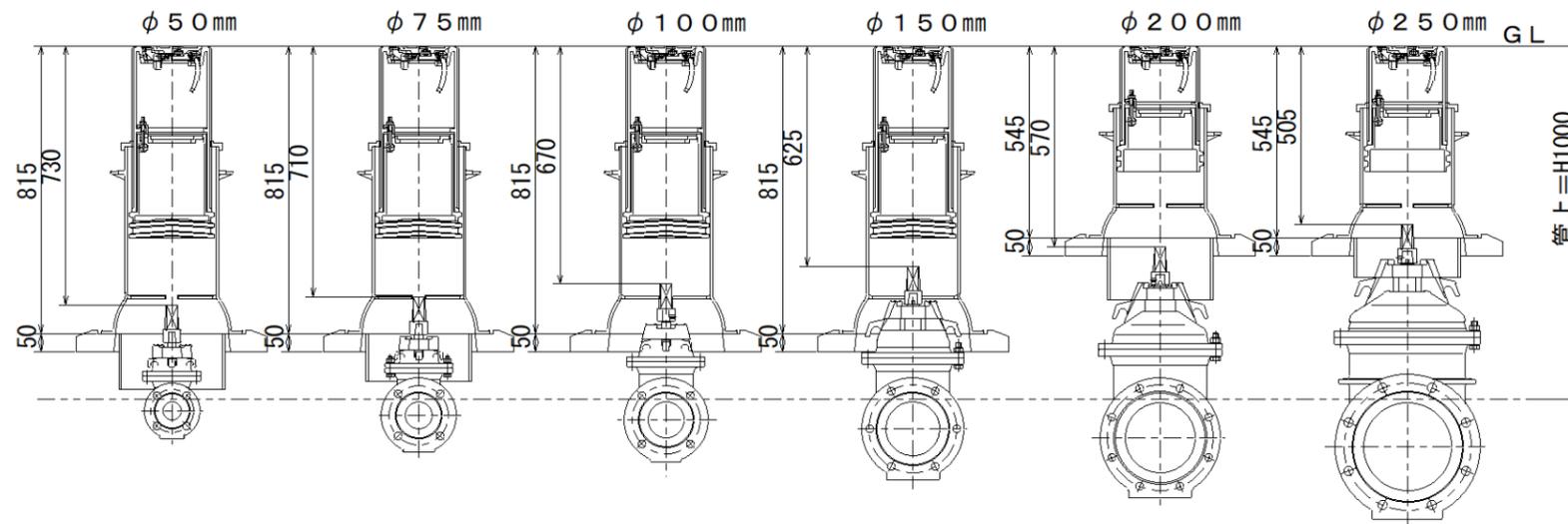
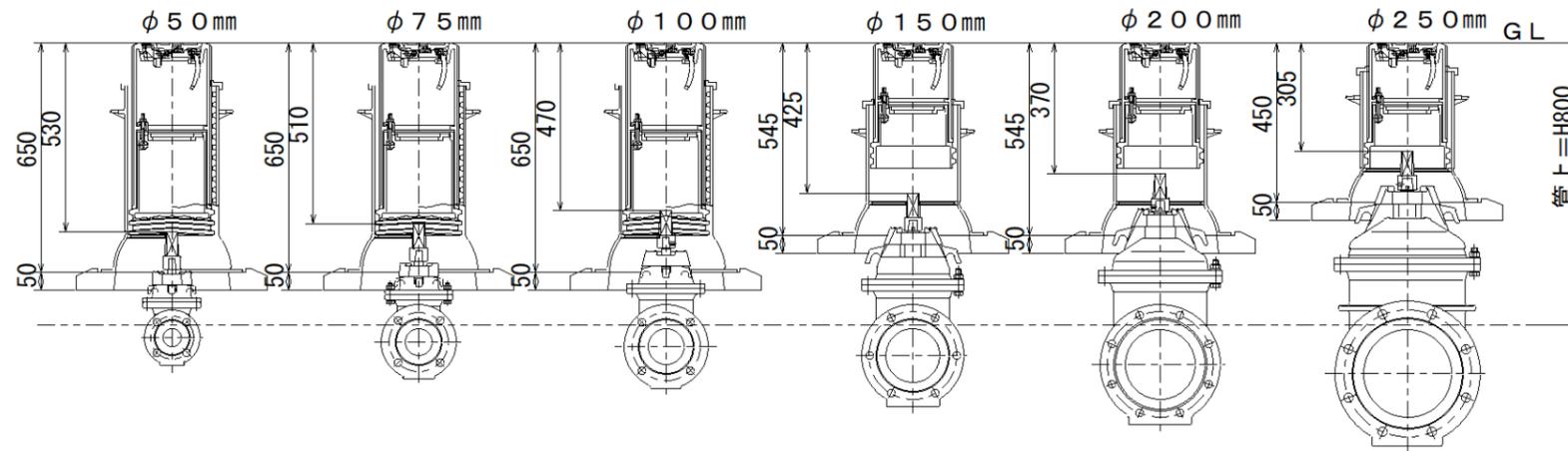
※区画線復旧も忘れず行うこと。(加熱溶融式補修テープ可)

※標準土工図のため、現場状況により変わる可能性があることから、最終決定は係員に確認すること。

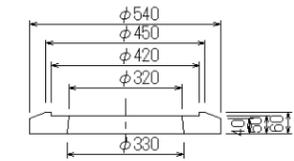
R5.4改訂

(給-6-3)				
図面の名称		給水工事標準土工図		
図面番号		1-R4.4-3	縮尺	1/20 A3
課長	係長	合議	審査	設計
黒部市 都市創造部 上下水道工務課				

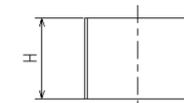
仕切弁筐組付図



再生プラスチック製座台 (THP4型)



VU管 (φ300)



★本図はトミス製を基としているが、構造等において同等と認める場合は、他社製品の使用を認める。

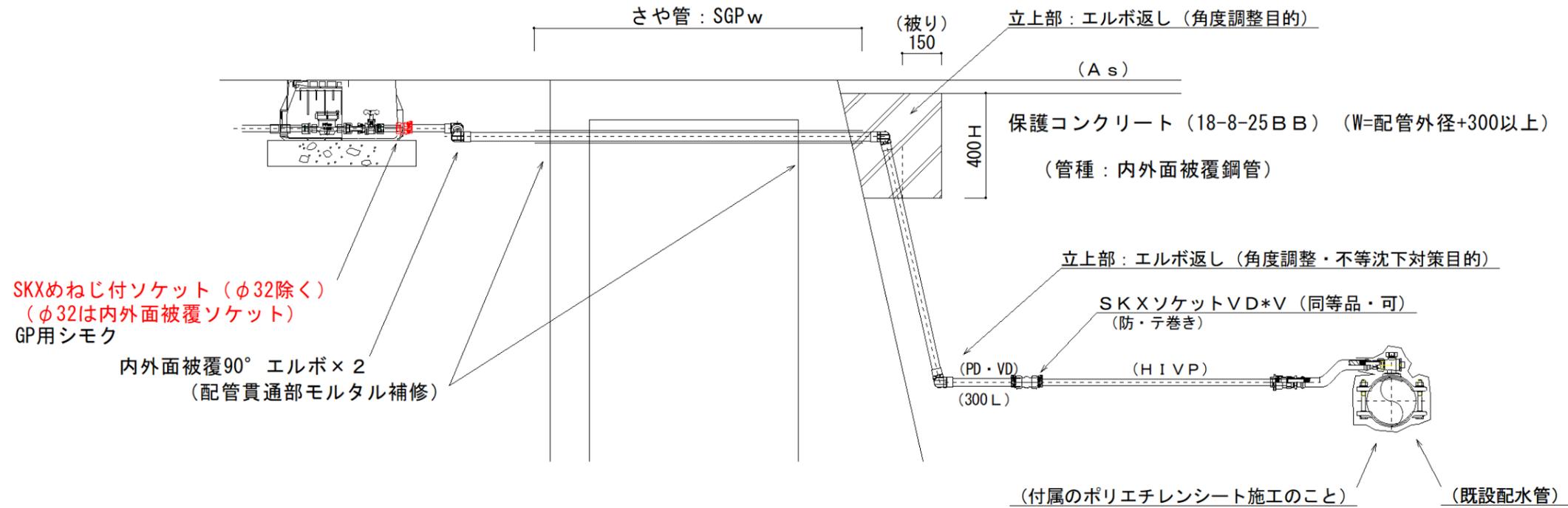
R5.4改訂

(給-6-4)				
図面の名称 仕切弁ボックス据付図				
図面番号 0-R3.4-4		縮尺	1/20	A3
課長	係長	合議	審査	設計
黒部市 都市創造部 上下水道工務課				

給水管引込標準図（特殊事例）

※垂直に立ち上げられる場合は標準配管とし、本図のようなねじ込み接合は行わない。

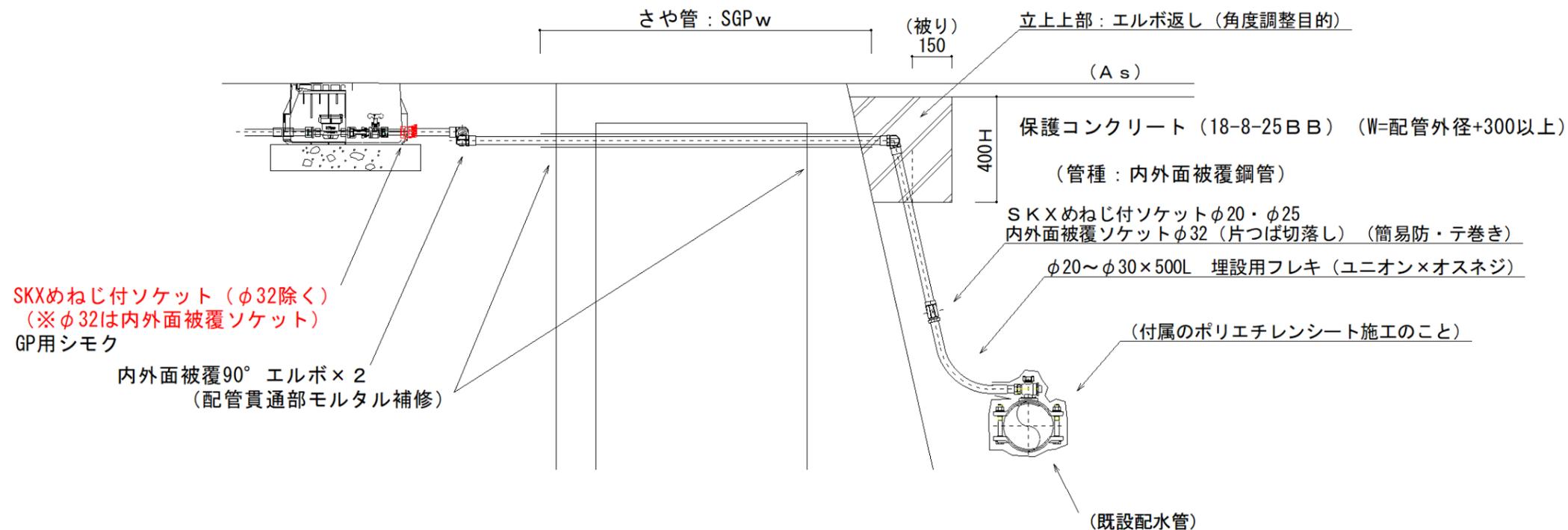
【水路貫通の場合】



給水管口径に対するさや管対応表

給水管口径	管種	さや管口径
φ20	HIVP	φ40
	内外面被覆鋼管	φ40
φ25	HIVP	φ40
	内外面被覆鋼管	φ40
φ30	HIVP	φ40
φ32	内外面被覆鋼管	φ50
φ40	HIVP（参考）	φ50
	内外面被覆鋼管	φ65～φ80
φ50	HIVP（参考）	φ65～φ80
	内外面被覆鋼管	φ80

【大型構造物と配水管が接近及び水路貫通の場合】



配管径別最大径間長（参考）

さや管径	径間長	
φ40	2,600	支持金物設置間隔は左記以下とすること
φ50	3,200	
φ80	4,300	

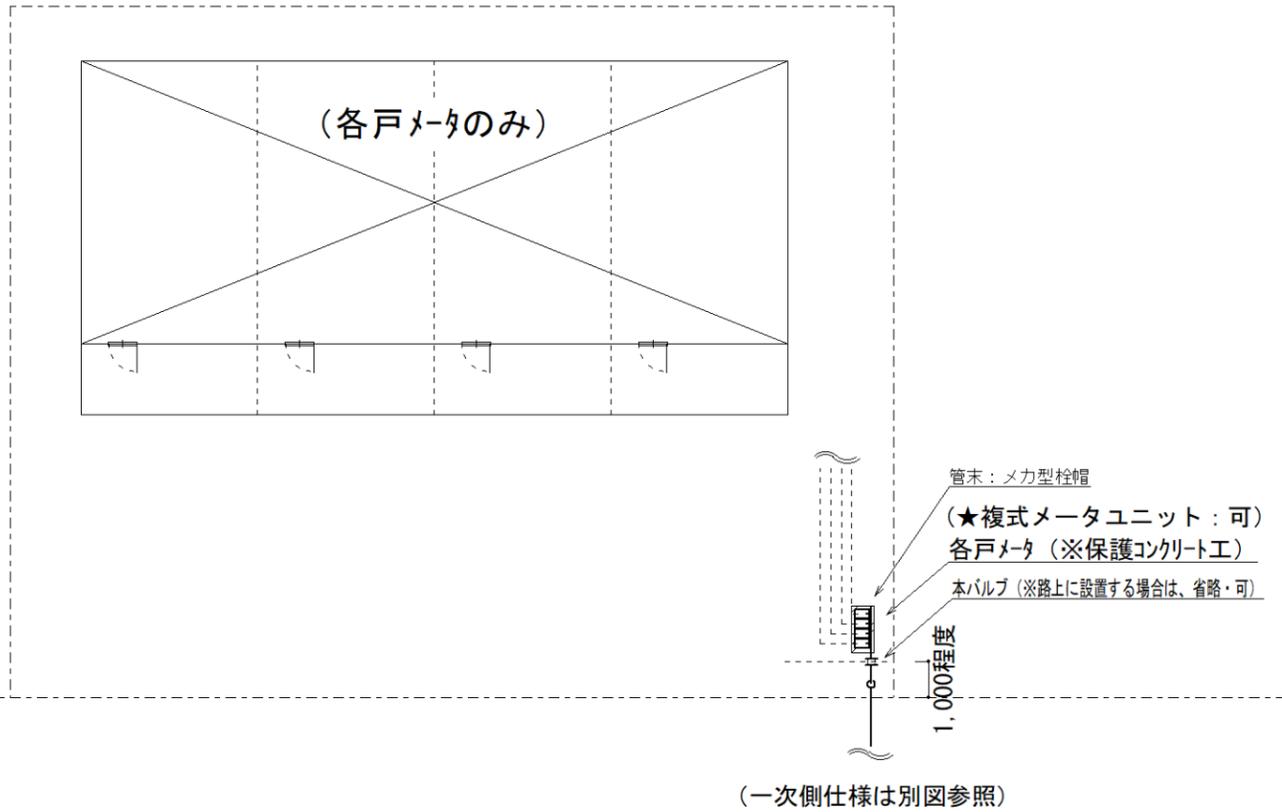
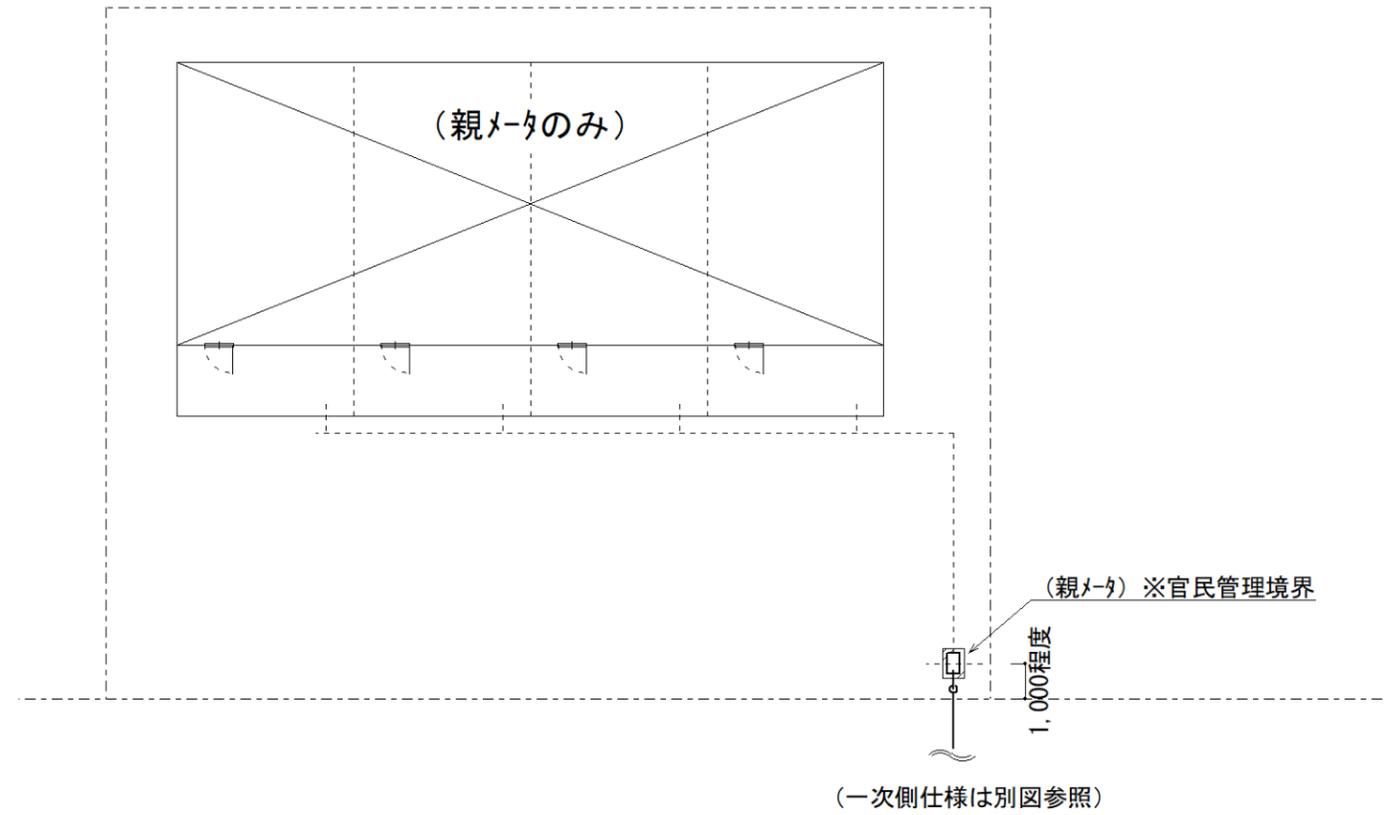
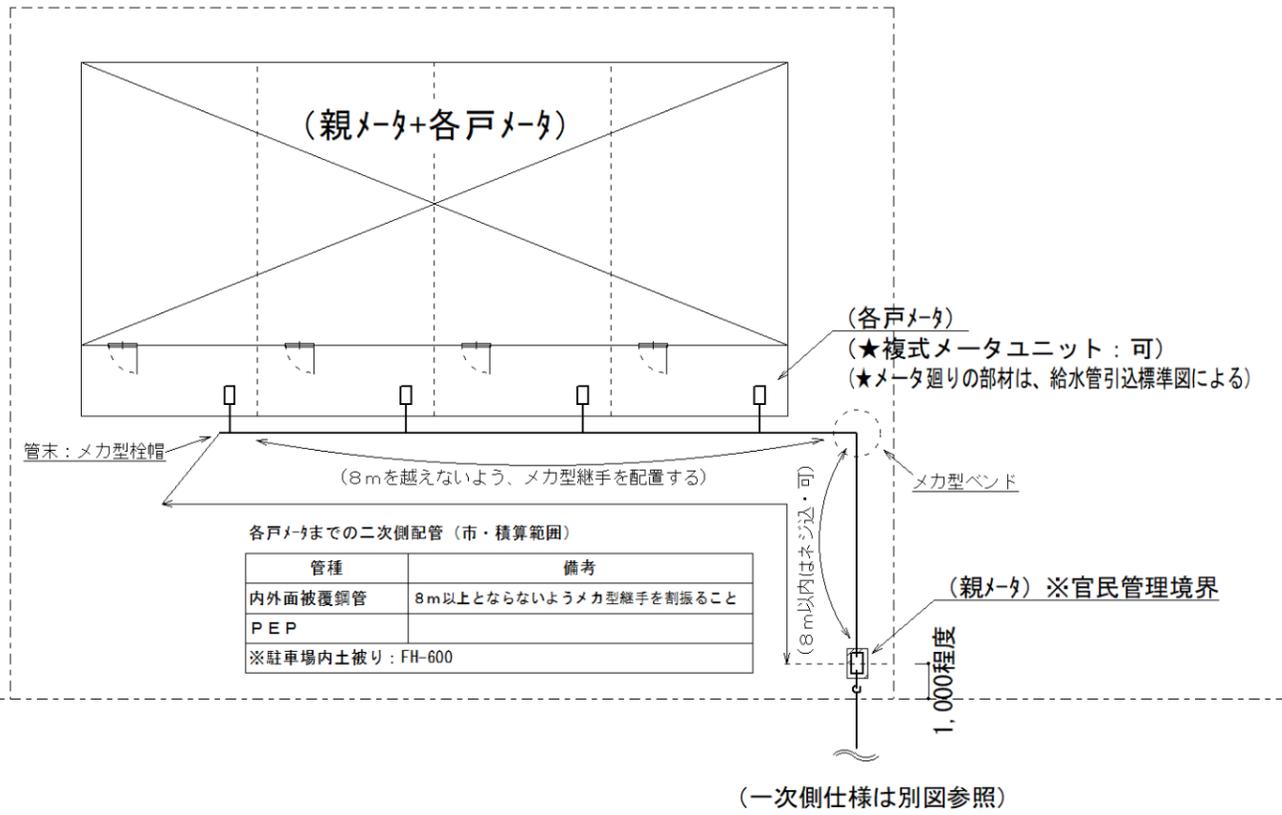
※上記は支持金物設置の目安である。

- (荷重内容)
- ・自重+水重
- ・雪荷重：H=1.5m (2941.995N/m³)

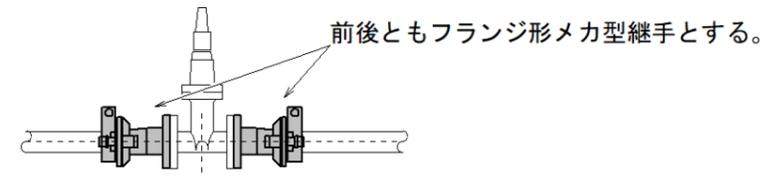
R5.4改訂

(給-6-5)				
図面の名称 給水管引込標準図 (φ40・φ50)				
図面番号 1-R4.4-5		縮尺 1/20	A3	
課長	係長	合議	審査	設計
黒部市 都市創造部 上下水道工務課				

集合住宅給水引込図



本バルブ廻り配管態様 S=1/20



その他

- 各戸メータ設置の際、共用栓（散水栓）メータは、親メータが設置されていても設置すること。（差水計算は行わない）
- 一次側のHPPEの使用は妨げない。
- φ75以上は、原則GX形若しくはHPPEとする。
- 不明な箇所は、必ず係員と協議し決定すること。
- 集合住宅において、シャフト内へメータを設置する場合は、係員と協議のこと。
- ネジ込部等防食が必要な箇所は、簡易防食テープ巻きを施すこと。

本標準図は、令和3年4月1日より施行する。
 令和4年4月1日一部改訂
 令和5年4月1日一部改訂

R5.4改訂

(給-6-6)				
図面の名称 給水管引込標準図 (集合住宅)				
図面番号 0-R3.4-6		縮尺 1/200 A3		
課長	係長	合議	審査	設計
黒部市 都市創造部 上下水道工務課				